徳島大学大学院医科学教育部
発生分化再生医学特論特別講義

武田 洋幸 博士

東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻
動物科学大講座動物発生学研究室教授

からだづくりの新しいメカニズムとエピゲノム

メダカ変異体からの考察

７月１１日（水）16:30～18:00

疾患プロテオゲノム研究センター
交流ホール（１階）

小型魚類は、多数の突然変異体が存在し、遺伝子導入や胚操作が容易であるなど、遺伝学や発生学の研究に適したモデル脊椎動物です。「小型魚類を用いて脊椎動物の普遍的発生原理を探る」を主要な研究テーマに、ゼブラフィッシュとメダカを用いて脊椎動物初期発生過程における体軸形成および器官形成の機構研究をリードしておられる武田先生を招いて特別講演を開催いたします。
多数のご来聴をお待ちしております。本講義は大学院特別講義です。

Moriyama et al, (2012) Curr Biol 22, 601-607
Omran et al, (2008) Nature 456, 611-616
Horikawa et al, (2006) Nature 441, 719-723
Takeda & Shimada. (2010) Ann Rev Genet 44, 217 – 241
Kasahara et al, (2007) Nature 447, 714-719
Nikaido et al (2002) Nat Genet 31, 195-199

問合先：疾患プロテオゲノム研究センター生命システム形成分野(大学院医科学教育部免疫系発生学)
高浜洋介（x9452, takahama@genome.tokushima-u.ac.jp）

徳島大學基因組研究中心遺傳子實驗施設第壱百参拾六回特別講演會